

令和 6 年度 文化財防災訓練等実施状況報告

都道府県名

愛媛県

行 事 名 称	宇和島城防火訓練
実施期間・日時	令和 7 年 1 月 29 日（水） 9 : 4 5 ~ 1 0 : 3 0
実 施 場 所	重要文化財宇和島城天守
主 催 者	宇和島市教育委員会

■実施内容

訓練の想定

令和 7 年 1 月 29 日、午前 10 時頃、強風波浪乾燥注意報が発表されている中、城山天守西側山林において火災が発生し、宇和島城天守に延焼する恐れがあると想定。

火災発生後、観光客の避難誘導と併せて、職員により屋外消火栓（2 基）で初期消火を行う。初期消火中に、宇和島市消防本部消防隊が到着し消火活動を行うことを想定。

訓練の内容

観光客役による火災発見、宇和島城天守職員等による災害通報訓練、避難誘導訓練、屋外消火栓放水訓練、天守閉窓訓練、消防隊による天守防御訓練を実施。

参加者及び役割分担

宇和島市教育委員会職員（8 名）：全体統括、訓練運営補助、講評

宇和島消防署（15 名）：防御訓練、講評

宇和島市シルバー人材センター派遣職員：災害通報（119 番通報ほか）、避難誘導、初期消火（屋外消火栓放水）
（19 名） 消火器使用訓練への参加

特に工夫した点

昨年度から消防本部からの提案により、火元から天守内に火の粉が飛び入らないよう、天守の閉窓訓練を実施している。

問題点・課題

- ・訓練時とは異なり、平時の城山従事職員は少数であることから、発災時に避難誘導や初期消火を適切に行える防火技術等を維持することが課題。
- ・登城道が狭隘であり、一部は石段であるため、大型消防車両が天守まで到達することは困難。そのため、初期消火の精度向上や 119 番通報を速やかに行い、消防隊到着までの時間短縮に努めなければならない。

その他

訓練風景

